

竜巻注意報等発表時及び発生時対応マニュアル

竜巻注意情報発表時

各種情報収集
発達した積乱雲に注意

「竜巻」接近時

～学校にいるとき～

○教室の場合（特別教室も含む）

- ・窓を閉め（鍵をかける）、カーテンも閉める。
- ・出入口のドアを閉める。
- ・窓から離れる。【大きなガラス窓の下や周囲は危険】
- ・机の下に入るなど、頭を守る。

○教室以外の場合

- ・壁の近くなど、物陰に入って身の安全を確保する。

○屋外にいる場合

- ・校舎など丈夫な建物に避難する。【物置やプレハブの中は危険】

～登下校中のとき～

急変が予想される場合は、登下校を控える。

○万が一、遭遇した場合

- ・近くの丈夫な建物に避難する。
- ・建物に避難できない場合は、くぼみなどに身を伏せ、安全を確保する。【電柱や太い樹木も倒壊する危険があるので、近寄らない】

「竜巻」通過後

教職員

○気象情報を確認し、空の様子をみて発達した積乱雲が近づいているか確認する。

※「発達した積乱雲が近づく兆し」

- ・真っ黒い雲が近づき周囲が急に暗くなる
- ・雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする
- ・冷たい風が吹き出す
- ・大粒の雨や「ひょう」が降り出す

防災主任

○防災主任は、校内放送等で緊急事態を全職員及び生徒等に知らせる。

教職員

○生徒等に指示をして、安全な場所を確保し、安全な態勢を取らせる。

※廊下等にいる場合は、窓から離れた場所に身を隠すように指示する。

○生徒等素早く校舎内へ誘導し、安全確保に努める。

教職員

○生徒等に竜巻が発生したときの対応の仕方について、事前に確認しておく。

○自宅における対応の仕方についても事前に確認しておく。

校長
教頭

防災主任

○生徒等の状況（けが等）を確認するとともに、校内の状況について確認する。

